

28P-am330

Moodle for Mobile を用いた薬学教育支援システムの構築と評価

○安藤 裕明¹, 北沢 望美¹, 福島 美佳¹(¹金城学院大薬)

【目的】オープンソースの教育支援システム Moodle に、携帯電話からの利用を想定した Moodle for Mobile を導入し、携帯情報端末(PDA)と携帯電話を組み合わせて薬学部の授業等を支援する仕組みを構築した。また、一般教室での利用を想定し、PDA から無線 LAN 経由で同時に接続できる台数や、携帯電話からの接続に関する検証を行い、授業における応用の可能性について検討した。

【方法】パソコンでの利用を前提とした Moodle に、携帯電話に対応するための Moodle for Mobile をアドオンしたサーバを準備し、ミニテスト機能を中心として、PDA および携帯電話からの接続性、問題の視認性、使いやすさ等を、主に学生アンケートを元に分析した。携帯電話から Moodle を使用する場合は、一般的にパケット通信を行うために費用が発生する。そこで、学生の所有する携帯電話について、パケット通信費用に関する調査も実施した。

【結果】携帯電話から Moodle for Mobile への接続は、URL を直接入力する方法ではミスが頻発し、実用的でなかった。しかし、QR コードや URL を明記したメールを準備する事でトラブルを回避することができた。携帯電話からのアクセスでは、利用できる機能や表示できる文字数に制限があり、○×問題以外は実用的ではなかった。PDA からは、Moodle の全機能を利用できたが、画面の解像度が低いためにレイアウトが崩れ、複雑な投票や問題は回答し難い事が明らかとなった。

【考察】PDA 単独では、故障等、様々なトラブルを考慮する必要があり、一般教室では受講者全員を Moodle に接続させることは極めて難しかった。携帯電話は、これを補完するツールとして有用であるが、利用する際には、機種毎に異なる画面サイズの制限やパケット通信に伴う費用の発生等の課題をクリアする必要がある。